

町有住宅
小屋浦

町有住宅の入居募集状況は

町 空き室は災害時一時避難所に活用



安竹 正 議員

一般世帯向け住宅の空き室15戸に対して1戸の募集しかしていないのはなぜか。
また、小屋浦地区の人口増加に向けた対策は。

可能性などについて、調査検討を行っている。
町長
砂防ダムができて、調
全での災害が防ぎされる
ものではない。
「備えあって憂いなし」
のことわざのごとく万全
を期するため、一時避難所
を確保しておく必要がある。
議員
砂防ダムが完成したこ
とにより、町有住宅に一
時避難所は必要ないので
は。



空き室が目立つ小屋浦の町有住宅



折中 智 議員

坂町第5次長期総合計
画に生活道路拡幅の記載
があるが、横浜三部地区
で10年後までの推進は。

町長

横浜三部2・6・7・
8号線の拡幅は避難路と
して都市防災事業計画に
位置付け実施している。
まずは住民協と道路担
当課が協議を行った上で
地域の実情や町全体の道
路事情バランスなどを考
慮し検討する。

議員
町道浜田中洲線の一方
通行区間で逆走事例があ
る。舗装にペイントは。

町長

終点部分に進入禁止の
標識があるため警察とし
ては路面標示できない。
また、町が路面標識を
するにも道路管理者の権
限ではない。
まずはパトロールの強
化をお願いし、実態把握
する。

議員
町道浜田中洲線と横浜
三部・二部境界付近の水
没対策の進捗は。

町長

横浜ポンプ場を平成27
年に大型ポンプの増設。
横浜若竹こども園付近で
排水路改修工事をし、来
年度には上流に向けて工
事予定である。
横浜二部地区の横洲公
園付近に延長112mの
排水路工事を発注し来年
度完成予定である。



道路拡幅が望まれる

観光課新設

町に観光課の新設を

町 組織体制のあり方を検討している



岡村 繁範 議員

観光課の設置を急ぎ、
町自らが収益を図り地域
課題を解決しては。

を担当する組織体制のあ
り方を検討している。

議員
ブランド力強化への補
助金は投資と位置づけ、
伴走支援体制が必要で
は。

産業建設課長

ブランド力強化促進事
業で開発された特産品
は、町内販売が条件と
なっているため、商工会
などと商品の取扱いや販
路拡大を協議していく。

議員

観光課の設置とは別
に、「地域で作り、稼ぐ」
という自立した地域経営
の展開が必要では。

町長

漁業協同組合、商工
会、農産物生産者などの
事業者と連携し、ベイサ
イドビーチ坂を活用し、
事業者が一体となって観
光協会などの設立を行政
とともに考えていかなけ
ればならない。



特産品販売風景



奥村 富士雄 議員

坂町防災士
組織化

防災士の組織化と防災活動の充実を

町 防災士ネットワーク会議を開催し検討する



奥村 富士雄 議員

令和元年度から始
まった町助成の防災士養
成は、4年度までに10住
民協で23名が誕生してい
る。
今後、防災士の数値目
標はあるのか。

議員

3年前に当時の町内防
災士で「防災士ネット
ワーク会議を開催して、
その後立ち消えになっ
ているが。

町長

毎年、定期的に「坂町
防災士ネットワーク会
議」を開催し、活動方針
などを協議していく。

議員

現在、小屋浦防災士会
が活発に活動しているが、
町のリードで、坂町防
災士会の組織をつくり、地
域防災活動の充実を図
る必要があるのでは。

町長

今後、より地域密着し
た防災士会、防災士ネッ
トワーク会議になるよう、
私も牽引していきたいと
考えている。



小屋浦防災士会の活動

町長
坂町国土強靱化地域計
画において、令和7年度
まで51名の取得を目標と
している。